



2025 EVENT

4月下旬から 11月上旬まで (毎週土曜日)	3 MILES CLUB @ ZERODAY
5月3日~ 7月27日 (土・日・月・祝)	FROM THE CLOUDS SNOWY WASHIO Tomoyuki @ tou;
5月10日	とうや古本市 @ 洞爺八幡神社
6月4日~ 7月6日	Think Together 今世界で起きていること @ HOLIDAY MARKET TOYA
6月21日	サカキマンゴー Live @ めぐりや
6月29日	招き市 vol.2 @ ココカラベース haikara
7月12日~ 8月31日	青衣展 @ HOLIDAY MARKET TOYA
9月13・14日	洞爺八幡神社 例大祭 @ 洞爺八幡神社
9月末	コピト祭り @ とうや水の駅
10月4日	OKTOYA FEST CAMP @ ZERODAY× ヨツカド商店
10月4日	とうや古本市 @ 洞爺八幡神社
11月1日~ 11月30日	My favorite books 2025 @ HOLIDAY MARKET TOYA

学芸員 小八木さんが教える
もっと楽しむ!
洞爺湖芸術館

THE INBETWEEN (火山と湖のあいだで)
道川省三 陶芸作品展

会期：2025年8月1日(金)~9月23日(祝・火)
展示点数：12点(新作・未公開作含む)

洞爺湖町出身の陶芸作家・道川省三さんの作品展が、この夏開催されます。テーマは「THE INBETWEEN(火山と湖のあいだで)」。

地元・洞爺湖と有珠山をモチーフに、自然との対話を感じさせる陶芸作品が並びます。道川さんは1953年、洞爺湖町生まれ。青山学院大学卒業後は、愛知県瀬戸市を拠点に国内外で活躍。これまでにイギリス・アメリカ・フランス・ドイツなどで個展を開催しています。本展では、ニューヨークと名古屋で2024年に開催された展示と同テーマながらも、新作や未公開作品を中心に12点を展示。火山の荒々しさと湖の静けさ、その狭間にある“あいだ”を、陶という素材を通して表現しています。

プロフィール

2024年4月から洞爺湖芸術館に学芸員としてやってきました小八木(こやぎ)と申します。作品だけでなく景色も楽しめる洞爺湖芸術館。盛り上げる一助になれるよう頑張ります!

洞爺湖芸術館

📍 洞爺湖町洞爺町96
🕒 9:30~17:00
🗓 月曜
📍 toyakomuseumofart
🌐 geijutukan.net



小八木さんの見どころ

- ・洞爺湖や有珠山をモチーフにした作品を、実際にその風景を望めるこの場所で展示
- ・色調や質感、表面の風合いを活かしつつ伝統をふまえたダイナミックな表現

2階展示室からの美しい洞爺湖と有珠山の眺めとともに楽しめる、贅沢なひとときをお過ごしください。

湖畔犬

菅松ユメコ 2歳



浜中町からやってきた保護犬。臆病だけど大好きな人はすぐわかる。

新店舗情報



ヨツカド商店の飲食部門。お菓子もあるよ!
ヨツカドホール
📍 社警町滝之町385-11
🕒 10:00~17:00
🕒 ランチ 11:00~L.O.14:00
🗓 火~土曜(しばらくの間ランチは金・土のみ)
📍 yotsukadohall



センス抜群の店主による社警の食材を使った料理とクレープ
sopela
📍 社警町字滝之町284-24
🕒 11:00~16:00
🗓 金~日曜
📍 sopela0823



賑やかな二人が迎えてくれる、時間が溶けるお店
金田一商店
📍 洞爺湖温泉1-22
🕒 14:00~22:00
🗓 不定休
📍 kindaiichi.shoten



「熊」フリークの店主の語りで沼へ誘われること間違いなし!
KIOSK EPERE
📍 社警町字滝之町283-51
🕒 11:00~18:00
🗓 月・火・水曜
📍 kioskepere

LAKE TIMES

レイクタイムズ No. 05

洞爺湖のほとりの、ぐるりのこと。この場所に大切なものを見出して暮らす、わたしたちの新聞。

編集・ライティング・写真 森高まき(たまたま舎)
ライティング・写真 Lamy nakamura
デザイン 青山剛士(drop around)
イラスト スギモトアオイ
広報 渡辺沙央子
アドバイザー ZERODAY

制作 とうや子プレス
発行 2025年5月9日
発行元 レークヒル・ファーム

あとがき

あつという間に今回で5号の発行となりました。今回の対談は年代にかかわらず洞爺湖にお住まいの方にはぜひ読んでいただきたい内容になっています。LAKE TIMESは自分たちの速さでゆっくりと、少しずつ洞爺湖が良い方向に進んでいくために必要なメディアだと考えています。先人たちの知恵を大切に、でも変化を恐れず、世間や世界の風向きに右往左往せずしっかりと舵を持って、より良い町を目指していきたいと思ひます。(レークヒル・ファーム 塩野谷通)

今回の特集のきっかけは、梅を漬けるための氷砂糖探し。都会まで行かないとないかな...と思いつ友人に聞いてみたら、なんとすぐ近くに3軒も置いていたのです!「一見なさそうなのに、ある。物も遊びも、見出すことから始まる。そんな気づきが、この企画の出発点です。(森高まき)



LAKE TIMES
設置店 募集!
📍 laketimes_toya

本誌へのお問い合わせはこちら:
toyakopress@gmail.com
本誌からの無断転載を禁じます。
Copyright © LAKETIMES

TAKE FREE

LAKE TIMES

The surroundings of Lake Toya.

レイクタイムズ

Size : 273 × 406 mm
Page : 008



特集
洞爺湖周辺を遊び尽くす1日

A day to play around Lake Toya

洞爺湖で暮らしていると、よく聞く言葉があります。「どこか遠くに行かなくても、ここで事足りちゃうんだよね」。海も山も近くて、キラリと光るお店や施設、温泉もたくさん。旅に出なくていい、今いる場所で自分を満たせるのは、とても豊かなこと。そんな“遊び上手”な地元民たちに、洞爺湖とその周辺を遊び尽くす、とっておきの1日を教えてもらいました。

1 9:00

推しを愛するために

昭和南山 熊牧場

少なくとも週に一回。短くて1時間。余裕ある時はざーっといます！

▲ 壮瞥町字昭和南山183番地
 ◎ 8:30~17:00 (5~10月)
 ◎ 年中無休
 ◎ showashinzankumabokujo




熊好き おしみさんこと

Mika Shimizu

清水美花

福井県出身。2024 年冬、壮瞥町に熊にまつわる雑貨のお店「KIOSK EPERE」を立ち上げた。通い詰めるあまり、昭和南山熊牧場の SNS を担当す

この地域の魅力

「何も無い」って言う人に、思ってるより選択肢は多いよ！って、伝えたいです。住めば住むほど、あれもある！これもある！って知れる。そして、住んでる人が面白い！店主に会うという目的で巡ると、ここでの暮らしはより一層楽しくなるんじゃないでしょうか。

2 12:00

湖畔でお昼ごはん

tanto

具のチョイスが最高で、豚汁との組み合わせが大好き。財田米も抜群の味、湖畔で食べるとおいしさも倍増！

▲ 洞爺湖町洞爺町150-3
 ◎ 11:00~14:00
 ◎ 木・金・土曜
 ◎ tanto.toya




あの人の

洞爺湖周辺を 遊び尽くす 1日

1 3:00

釣り

釣れなければ、豊浦→蛇田→伊達と釣り場を移動する。目的はレジャーだけど、大きいのが釣れたら夕飯の食材に。狙ってる魚は、サクラマスとヒラメ、サケ。



釣りほど楽しいものはない！

Yosuke Tanaka

田中陽介

釣りに全振りしている男。洞爺地区の湖のほとりにある宿、チャンパク INN のオーナー。この辺りの情報はある程度熟知しているので、観光情報を知りたい方はぜひ彼まで。



この地域の魅力

これまで山菜やキノコ、いろいろハマってきたんだけど、「釣れるかどうかかわからない」っていう釣りのスリルはやっぱり飽きない。朝まずめ、夕まずめ、どちらも景色が絶景なのは言わずもがな。楽しいだけじゃなく、釣った後も料理して食べられるのが最高だね。

2 10:00

私のサイドブレイス

天然豊浦温泉 しょさい

地元民が多くて、洞爺湖温泉街の温泉よりも落ち着くから大好き。サウナも泉質もいいんだよね。釣りの後はほとんどここに行ってる。

▲ 豊浦町字浜町109
 ◎ 10:00~21:00
 ◎ 年中無休



3 12:00

ラーメン山岡家 伊達店

安定のおいしさ

醤油ネギラーメン



5 20:00

お気楽酒 BAR 花々-kaka-

夜の合う仲間と夜更けまで

ここ、ただの Bar じゃないんです！カラオケもあるし、ダーツ、ゲーム、ビリヤードにピアノ。軽食もあって、何時間でもいられます。ベルベットのソファとか、昔のスナックっぽいところも大好き。

▲ 洞爺湖町洞爺湖温泉91-31
 ◎ 19:00~27:00
 ◎ おおむね月曜
 ◎ kaka.toya



4 16:00

気軽に 入って 大好き

ゆーあいの家

ぬるめと熱めの浴槽が二つあって、私はぬるめに長く浸かるのが好き！町内で1500 円の買い物をする、と、350 円で入れるんです。

▲ 壮瞥町字滝之町290-44
 ◎ 10:00~21:00
 ◎ 毎月第3月曜




5 15:00

小腹が空いたら

sopela

元地域おこし協力隊で、私の同期の杉山さんがオープンしたお店。体にいいのにとってもおいしいところが大好き！センス抜群の味付け。

▲ 壮瞥町字滝之町284-24
 ◎ 11:00~16:00
 ◎ 金・土・日曜
 ◎ sopela0823



5 15:00

釣れて気分がいいときは...

ヨツカド商店

いつもは深煎りばかりだから、ここで飲みたいのは浅煎りのコーヒー。

▲ 壮瞥町滝之町385-11
 ◎ 10:00~17:00
 ◎ 日・月曜
 ◎ yotsukadoshouten



4 13:00

釣りに行ったら寄るところ

道の駅あぶた

平飼いの精卵の たつかーむ

チャンパクドーナツの おいしさの要！

▲ 壮瞥町立香92
 ◎ 11:00~14:30
 ◎ 日・月曜



1 10:00

仲良しの友人、ハルトと朝イチで駆け込む

cokyyu

アイスか季節のドリンクを朝の体に流し込む！

▲ 洞爺湖町洞爺町128-7
 ◎ 10:00~16:00
 ◎ 金・土・日・月・祝
 ◎ cokyyu.toya



だいたい湖の近くにいる

Towa Konno

今野トワ

洞爺地区のパン屋、ラムヤートの娘。猫好きの小学5年生。

この地域の魅力

みんな楽しそうで、みんな笑ってる

2 10:30

shimarisuya

シフォンケーキがあったらラッキー！

▲ 洞爺湖町洞爺町128-10
 ◎ 10:00~16:00
 ◎ なくなり次第終了
 ◎ 不定
 ◎ shimarisuya

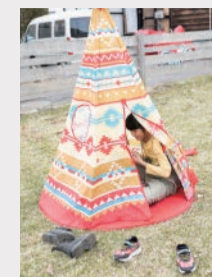


3 11:00

洞爺湖で遊ぶ



必ず大人について来てもらって入ってるよ。1日3回入るときもあるかな。SUPが楽しい！



5 16:00

ハルトと猫と遊ぶ

ハルトと遊びすぎてもう遊ぶことがない。家で遊ぶときは、水戸黄門を観てるよ。



4 13:00

野生の学舎

4月で100回を迎えた、野に開かれた学び舎。土から粘土を作って、土器を焼いたよ。

▲ 洞爺湖周辺
 ◎ 主に週末の
 13:00~16:00
 ◎ yaseino_gakusha



1 7:00

鳥帽子岩

春が特にチャンスなんだけど、雲海になって山頂から中島だけがぽこっと見えることがあるんだよね。40 分くらいで登れる山だから、初心者の人にもオススメ！



20 年経っても飽きないね！

Go Fukushima

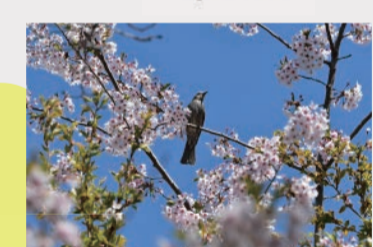
福島ゴウ

鳥の鳴き声を聞けば何の鳥なのかすぐわかる、鳥のエキスパート。クリアカヌーガイド兼鳥類調査業。洞爺のガイド会社の立ち上げをきっかけに、2003 年に移住。火山マイスターの資格を有する。



この地域の魅力

この地域に暮らし始めて 20 年以上経つけれど、どんだけ暮らしても、やっぱり飽きないよね。やりたいことも、知りたいことも、まだまだいっぱい！海と山と湖が一箇所にギュッとつながるこんなところは、なかなかないよ。




財田自然観察道

湖畔からの風を守る防風林としての役割をもつ、湖畔の道。フットパスなのでとても歩きやすいし、大木が多いのも見どころ。

高台に行ったら...

レークヒルファーム

お気に入り、白花豆、季節限定のフレーバー、ミルフィーユ！



2 13:00

中島

風穴から吹く風が涼しいから、手を当てて涼んでみてね。今、中島には約 50 頭の鹿が生息しているらしいよ。ここだけの特異な自然があるから、楽しんでみて。



3 17:00

東湖畔の 仲洞爺キャンプ場

やっぱり夕方は、夕陽が差す仲洞爺がきれいだよ。今日は夕焼けがきれいそうだから夕焼けは思わず出かけちゃう。

番外編

洞爺湖を歩き尽くす男

Toshio Kondo

近藤利男



Q 歩き始めたきっかけは？

今は 60 歳の娘が、小学一年生だった頃の話。小学校の運動会で、かけっこが苦手な娘から、走る練習に付き合ってたって言われてさ。それを機に毎日歩いて走ってた。やり始めたの。もう娘は付き合ってくれなくなっちゃったけど、健康のために続けてるんだよね。

Q&A

Q 歩数は？

最低 12000 歩くらい。

Q コースは？

財田まで来ることもあるし、川東や高台を歩くこともあるよ。その日の気分でコースを決めるんだ。

Q どうしてそんなに 高台を振っているの？

そうすると前に進めるから(笑)



ここもオススメ！



洞爺湖愛と語り

都会の喧騒から離れ、そして遠く故郷の国からも離れ、洞爺湖のほとりで生きる選択をした二人がいる。イギリス出身のジョニーと、カナダ出身のフィル。移住先に選んだのは、人々の暮らしが息づく洞爺地区。静けさと美しい自然、そしてここにある“人とのつながり”に心を動かされた彼らが語る、町との出会いとこれからのまちづくり。

ジョニー×フィル 対談

外国人移住者が考える、これからの洞爺

この町で暮らすということ —

ジョニー：僕がこの町に移住したのは、ただ自然が美しいからじゃない。湖のほとりで毎朝目覚める生活が、もう“自分のエレメントだ”と感じられたから。金融の世界でスクリーンに囲まれて過ごしていた頃とは、真逆の暮らしだよ。

フィル：僕も2015年に初めてこの町を訪れた時、不

思議なくらい安心感があった。移住を決めたのは、出会った人たちがあたたかくて、町のコミュニティにすぐ惹かれたからなんだ。

ジョニー：僕にとって、この町の未来を考えるのは自然な流れだった。いま、湖の近くでセーリングクラブを立ち上げていて、子どもたちに自然とふれあえる機会を提供しているんだ。自然は、この町にとって最大の資源だと思ってる。

フィル：僕が大切にしたいのは「すでにここにあるもの」。観光だけでなく、日々の暮らしのなかで息づいているコミュニティが、この町の宝だと思ってる。町外からの人が増えるのはうれしいけど、その変化が地元の人々の暮らしに影響しすぎないようにしたいんだ。



洞爺のこれからをどう描く？ —

ジョニー：僕はこの町が、ニュージーランドのクイーンズタウンみたいに進化できる可能性があると思ってる。セーリング、SUP、ローカル食材のマーケット、ワインバー、小さなカフェやクラフトショップが点在するような場所。週末は通りを歩行者天国にして、賑わいが生まれるようなイメージさ。



ジョニーさん

投資家。世界各地を見てきた中で、洞爺湖の美しさに心を奪われ、2019年に移住。湖畔にて「LAKEHOUSE AT TOYAKO」を手がけるほか、2024年には非動力で湖を楽しむ「Toyako Boat Club」を設立。

人物紹介



フィルさん

翻訳家。2015年、日本各地を旅するなかで訪れた北海道・洞爺湖で、心惹かれる家族との出会いをきっかけに、移住を決めた。現在は洞爺地区で、誰もが立ち寄れるコミュニティスペースの開業を準備中。

異なる立場、同じ願い —

フィル：確かに、それは魅力的。でも僕は、地元のコミュニティが納得して参加できる形で進められることが大切だと思う。観光で訪れる人が増えること自体はいいと思うけど、そのために町の人たちの声がかき消されたり、居場所がなくなったりするのは避けたい。観光と暮らしが共存できるような形が理想だね。

ジョニー：そのためにも、空き家や使われてない建物を活かして、若い人がチャレンジできる環境を整えていきたい。場所さえあれば、やりたい人は必ず現れると思ってる。ニセコのような形ではない方法を探していきたいな。

フィル：それは本当にそう。実際、僕も洞爺でコミュニティスペースを作ろうとしているけれど、町の人々が「それ、いいね」と言ってくれるとすごくうれしいし、安心する。だからこそ思うんだ。この町の未来は、どんな建物を建てるかよりも、誰がどう関わっていくかが大事だって。

ジョニー：僕は、町を変えたいんじゃない。この場所の良さを、もっと多くの人に知ってほしいんだ。だから未来に向けて、僕にできることをしたいと思ってる。

フィル：うん、僕らは外国人かもしれないけど、肌の色が違うだけで、洞爺を大切にしたいという気持ちは同じだと思ってる。だから町の人々の「仲間」だと感じてもらえたらうれしい。町をよくしたいと願う気持ちは、誰にでもある。だったら、その気持ちをもっと開いて、交わっていける町になったらいいなって。

ジョニー：やり方は違っても、想いはきっと重なる。大切なのは、誰かが決めるんじゃないって、いろんな視点が集まって一緒に考えていける場を持つことだね。

フィル：まさにそうだね。洞爺にはまだ、未来をつくれる余白がたくさんある。だからこそ、この場所を愛する人たちと一緒に、一歩ずつ育てていきたいんだ。



ヨツカド 商店通信

ヨツカドホール、 はじまりました!



ヨツカド商店の飲食部門、“ヨツカドホール”がこの春オープンしました。建物の半分は、チーズやワイン、コーヒー、日用品などを扱うヨツカド商店。もう半分が、喫茶とフリースペースのヨツカドホールです。実は、喫茶部門のスタートがこんなに早まると思っていませんでした。



さまざまな事情が重なり、思いがけずスピードを上げることになりましたが、いまはまだ、「食を通して、この町で少しでも役に立てたら」という気持ちで、毎日お店に立っています。旅の途中の方、近くにお住まいの方、そして地元の方へ。いろんな立場の人がこの場所で行き交い、交わっていくシーンを思い描きながら、“ヨツカドホール”と名づけました。

【社名】ヨツカド商店

📍 有珠郡壮瞥町滝之町 385-11
🕒 10:00~17:00 (金曜日のみ 21時まで)
🗓 日・月曜
📞 yotsukadoshouten

ZERODAY コラム

自然にやさしい野外活動講座

5 時間目

私たちの暮らしは、豊かな自然環境があつてこそ成り立っています。それを未来の子ども達に引き継ぐために、私たちはどのように自然と向き合い、野外活動を行なっていけばいいのでしょうか。リープノットトレイスとは、環境に与えるインパクトを最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラムです。ルールによって自然を保護するのではなく、活動する本人の倫理観によって自然を保護する考え方を学びましょう!

Leave No Trace 7 原則

1. 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)
2. 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)
3. ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)
4. 見たものはそのままに (Leave what you find)
5. 最小限の 焚き火の影響 (Minimize campfire impacts)
6. 野生動物の尊重 (Respect wildlife)
7. 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

📍 温泉街
🕒 11:00~19:00
📍 洞爺湖町洞爺湖温泉 45
ZERODAY 📞 zeroday_toya

原則その5

最小限の焚き火の影響

みなさん焚き火は好きですか？僕は大好きです。暖かいし、食事を作るし、みんなで星空のもと焚き火を囲む時間は最高です。ただ、火の扱いには注意が必要です。意図的に着火も消火も出来、火をコントロール出来るのは我々人類だけ。その他の多くの動植物の為に、影響が最小限の焚き火について考えていきましょう。

Point.1 地表にダメージを与えずに焚き火をしよう

調理が目的なら、ガスコンロやストーブで十分。焚き火をする場合は焚き火台を使い、周辺の植物を傷つけない工夫をしましょう。

Point.3 枝はすべて灰になるまで燃やそう

炭のままでは自然に分解されるまで長い時間がかかります。すべての枝が灰になるまで、しっかり燃やしましょう。

Point.2 火の大きさは必要最小限に

大きすぎる焚き火は、火災などのリスクを高めます。火をコントロールする術を身につけ、必要最小限の火加減を心がけましょう。

Point.4 灰は完全に消火してから処理を

消火が不十分だと、環境に思わぬダメージを与えてしまう可能性があります。灰を処理する前に、完全に消えていることを必ず確認しましょう。

そのほかにも、ぜひあなた自身の工夫で、動植物への影響が少ない焚き火のかたちを見つけてみてください。洞爺湖の自然のそばで火を囲む時間が、よりやさしく、心地よいものになりますように。

あの味と、あの人に会いに。



洞爺湖温泉街の坂を上った先にある、黄色い看板に誘われて店内に入ると、焼き台を囲むコの字型のカウンターに肩を寄せ合って座るお客さんたちがいる。串を焼くのは店主の下妻久生さん。傍らで料理を選ぶのは妻の弘美さんだ。

「いつからお店を？」と尋ねると、「たしか 2002 年か 3 年の…」と斜め上を見つめる二人。「そういうの、テキトーでやってきたのよ！」と弘美さんが笑えば、常連客も釣られて笑う。

調理師免許を持ち、飲食店を渡り歩いてきた久生さんが「自分たちで始めよう」と看板を掲げた。「居酒屋ひろ」は奥さんの名前から取ったが、特に理由はないという。そんな“なんとなく”で始まったお店とは思えないほど、料理には丁寧な手仕事に光る。注文が入ったそばから調理し始める料理は、どれも心に沁みほろおしい。

2000 年噴火の後、静かだった温泉街で地元客が集う場となったこの店。コロナ禍を支えてくれたのも地元の常連客だった。「来てくれるお客さん一人ひとりを大事にしたい」という二人の思いが伝わり、ここを目的に訪れる観光客も増えた。地元客と観光客の間で自然と生まれる会話を聞きながら、目を細めながら串を焼く久生さん。洞爺湖温泉街の端っこで、今日もまた、小さな人情ドラマがひっそりと幕を開けている。

洞爺湖温泉街の端っこで 地元客と観光客が交わる隠れ居酒屋



温泉街

居酒屋 ひろ

洞爺湖町洞爺湖温泉 78
18:00~22:00
不定休
090-8900-7687



豚串 150 円
開店から継ぎ足され続けてきたタレがおいしい



焼きおにぎり 280 円
なんとびっくり、中にチーズが入っている！

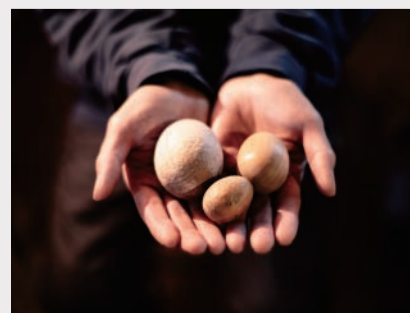
洞爺湖メイドの つくり手探訪

洞爺

ゴンさん

【木工好き】
@ tomoda_chicken_garden

2008 年に洞爺湖へ移住し、パン屋「ラムヤート」の職人として働き始める。2 年前から「友田鶏園」として小さな養鶏をスタート。田舎暮らしをきっかけに、自分の手を動かしてものを作ることに楽しさを感じ、薪用の木や端材を使って、身の回りの皿やカトラリーを手づくりするように。「コピト祭り」に来る子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、日々作品づくりに取り組んでいる。



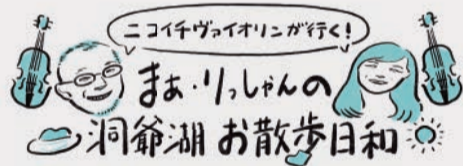
一つひとつの形が違うのは、鶏たちと暮らすゴンさんだからこそ。



剪定した枝から作る看板商品の「小さじ (700 円)」。ちょっとした調味料を取り出すのに便利。ラムヤートで購入可。

Q. 洞爺湖で作ることは、作品にどのような影響を与えていますか？

A. 洞爺湖の景色や音、匂い…そういったものを受け取ることで、自分のものづくりから余計なものがどんどん削がれていく感覚があります。ここで暮らしているのは、自分を受け入れてくれるこの町の人や雰囲気があるからこそ。本当にありがたいです。



季節の移ろいととも、さまざまな表情を見せてくれる洞爺湖。移住して3年半が経った今も、その美しさに魅了され続けています。なかでも、湖面が鏡のように静まるひとときは、何度出会っても胸が高鳴る特別な瞬間です。我らが編集長・たまちゃんに撮影していただいたあの日の湖も忘れられません。最高のロケーションに、なんと二羽の白鳥さんまで登場してくれて…！まるで湖の女神さまからの素敵な贈り物のようでした。「ここは本当に、いいところだね。」ニコイチは、今日も湖畔で深呼吸をしています。



ニコイチヴァイオリン

2021 年に洞爺湖町へ移住した、仲良し音楽家夫婦のまあとりっちゃん。無償で演奏をしに自宅へ向う「ウーバーミュージック」やコンサートなどを実施。

@ nicoichiviolin

自然を満喫できる小さな村のような空間を、ここ虻田町に。

text & photo by Lamy Nakamura

だから私たちは 洞爺湖に来た

場所	洞爺湖町虻田地区
移住年	2020 年
きっかけ	子どもの進学、働き方の変化
場所の探し方	まず賃貸に住み、足で探す

菅松 剛士さん (50)・ゆう子さん (53)・凜子ちゃん (9)・ユメコ (2)

アパレルブランドに勤務していた剛士さんと、ディスプレイデザイナーの仕事をしていたゆう子さん。二人とも、東京で忙しい毎日を送っていた。コロナの時期にオンラインでの仕事が可能になり、凜子ちゃんの小学校入学やゆう子さんの親戚が北海道に住んでいるということもあり洞爺湖への移住を決めた。いまでも、移住したというよりも引っ越しという感覚に近いという。

剛士さんは、移住と同時に大好きな本と酒の店「BACKWOOD」を始めることを決めていた。

剛士さんは店を営みつつ、薪になる資材を調達するために山へ、ゆう子さんは東京に出稼ぎへという生活を二年ほど続けていたが、あることがきっかけで今のライフスタイルへと変わる。それは、自宅にある栗の木だ。収穫期を迎えて木から落ちた栗は、

放置すると虫が入ったり湿気でダメになったりしてしまうため、すぐに捨たなければいけない。けれど時間がなくて後髪を引かれる思いで東京へ向かったゆう子さん。ビル街を歩きながら、頭の中は栗のことでいっぱいだった。この出来事をきっかけに、徐々に洞爺を拠点とした仕事へと切り替える決心ができたという。それと同時に、無農薬についての知識を深め、自宅にある果樹を無農薬で育てることに楽しみを見出すようになった。これから、洞爺に来て心惹かれるようになったライフスタイルを発信する店を始める予定だ。

いつの間にか、洞爺湖町に住んで 5 年が経っていた。毎度魅了させてくれる自然が、ここに移住してよかったと思わせてくれるという。地域の方々が新鮮な魚やジビエを手土産で持ってきてくれること



もあり、「道民より道民らしい暮らしをしてるかも」と笑う。東京にいたころは土で手が汚れることすら嫌だったという凜子ちゃん。「東京よりも楽しいよ」と言いながら、姉妹のような存在の保護犬ユメコと丸太に登ったり、堆肥のことを詳しく教えてくれたりと全身で自然を堪能しながら遊ぶ姿を見せてくれた。

「BACKWOOD を囲んで、時間を忘れて過ごせる小さな村のような場所を作りたい」と二人。湖から少し離れた洞爺湖町のはずれ。ひっそりと佇むこの場所に、大きな夢を描く準備が着々と進んでいる。二人の掛け合いで作り上げられるもの、そして凜子ちゃんとユメコも合わせた 4 人がこれから魅せてくれる世界が楽しみでならない。

BACKWOOD の 湖畔で読みたい本

虻田 BACKWOOD
洞爺湖町入江 265-55
12:00~17:00
月曜
backwood.jp

この星で生きる理由
過去は新しく、未来はなつかしく
著：佐治晴夫 (アノニマスタジオ)

湖を眺めていると、ぼーっとしたり、つい人生について考えたり。宇宙と地球と自然と、自分がちゃんと繋がっていること。自分の立ち位置はこれで大丈夫、とそっと背中を押してくれるような、美瑛に天文台を構える佐治先生のエッセイ集。

知られざる 洞爺湖ストーリー

甘酸っぱさの奥に息づく、70 年つながれた赤しそのタネと、人の手しごと。

実は、洞爺は道内有数の赤しその産地って知っていましたか？ その背景には、人知れず種を守り、つないできた人たちの存在があります。洞爺湖のほとり、静かに受け継がれてきた赤しそのタネ。もとは青森から嫁いできた女性が、この地に大葉赤しそのタネを持つ



洞爺 ピュアフルーツとうや

洞爺湖町洞爺町 59-4
9:00~17:30
土日祝

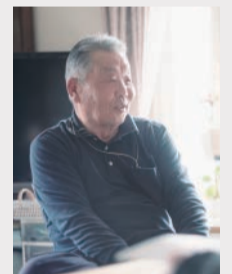
道の駅あぶたやとうや水の駅など、近隣の施設にて販売中。実は本社の中でも購入できます！原液やサイダーなどの種類も豊富。温泉上りに飲むのがオススメです！



ち込んだのがはじまりだったといいます。以来およそ 70 年、農家たちが交雑を避けながら自家採種を重ね、「いい種」を選び続けてきました。

しそは繊細で、少しの環境の違いでも味や香りが変わってしまう作物。だからこそ、ここがしその産地となり、守られ育ち続けてきた背景には、丁寧に「つなごう」とする人の存在がありました。香りがよくえぐみが少ない赤しそを一枚ずつ丁寧に手摘みし、後味すっきりとしたジュースなどの加工品をつくっているのが「ピュアフルーツとうや」です。

地域の農産物に付加価値をつけようと、行政主導で始まり、いまでは地元の農業者による民間で支えられています。ジュースの原料となるしそも、代表の佐伯さんが現在は自ら育てているそう。知られざる手間と時間が詰まった、洞爺のしそジュース。甘酸っぱいジュースを一口飲むたび、この土地と人の静かな営みに、そっと想いを馳せたくります。



仲洞爺

居住歴 83 年

田鍋 良憲さん (83)

農家の四代目。初代は四国からの地に入植し、二代目は農業のほか旅館や商店も営んでいた。今年からは仕事を農業一本に絞る、稲作にも小さくチャレンジする予定。

この町をつくった

人と写真

この土地で生きてきた 家族の時間を守り、耕していく

私が子どもの頃はね、ここに日鉄の鉱山があって、200 人くらいは人が住んでいたんだよ。閉山して人が出てって、今じゃ 33 戸くらいかな。子どもも 2 人しかいないかな。子どもの頃は本当ににぎやかだったな。獅子舞のお祭りもあってさ。あれがコロナをきっかけに無くなってしまったのは、なんとも寂しいもんだね。



19 歳のときに、母親が札幌で下宿をやるって言い出して、長男の自分が一人でここに残ることになった。父親のやっていった農業を継いだんだ。夏は馬を切って畑を切り出して、出た木材は船で洞爺湖を渡って、温泉街の駅まで運んだもんだ。景気も良くて、温泉街に遊びに行くことも多かったよ。

でも、時代が変わってトラクターの時代になってからだな。狭い畑や傾斜のある土地じゃ機械が使いにくくて、だんだん景気も落ち込んできた。それからは兼業でやってきたよ。

いい時代も、苦しい時代もあったけど、どこにも行かずにここで暮らしてきた。ここがそんなに良いのか、言葉にするのは難しいんだけど、目の前の仲洞爺キャンプ場に、観光客がずらりと並んでるのを見ると、「ああ、やっぱりいい場所なんだろな」とって思うんだ。親から譲ってもらったこの土地を、どんなに大変でも一度も手放さうとは思わなかった。この場所を守っていききたい。そんな気持ち、今も変わらずにあるんだ。